



# 校長室だより

校長 山崎 聡子

## 修学旅行

10月11日(金)・12日(土), 6年生の修学旅行を実施しました。天候に恵まれた中での宿泊学習となりました。

家族と離れ, 学校を離れ, 仲間と共に長い時間を過ごす小学校生活最後の修学旅行は, 子供たちの成長にとって貴重な時間となりました。また, 修学旅行で訪れた日光は, 歴史に触れることができる地であり, 豊かな自然を感じることもできる場所でもありました。仲間と時間を共有する中でこそ見えてくる景色があり, 多くの方々との出会いの中で, 自分一人では成し得ないことがあるということを感じたり, 考えたりできる時間にもなり, 学びの多い時間を過ごすことができたのではないかと思います。

朝の散歩で山を照らす朝日や夕方の足湯の帰りに目に入った月に, 「きれいだね」と言いながら仲間とその様子を見つめている姿, 鹿に出あって「かわいいね」と言いながらうれしそうに話している姿, 源泉に行き, 地面から湧き出ている部分を触りながら「温かいね」と笑顔で話しながら過ごしている姿等, 仲間と感動を共有しながら過ごすことができた時間は, 子供たちの心に大切な思い出として刻まれたのではないかと思います。

東照宮では, 案内人の方から, 五重塔の創り方の工夫がスカイツリーに活かされている等, 昔の人の知恵の素晴らしさやその力が現代にも継承されていることの話から始まり, 子供たちも話に引き込まれていきました。三猿や陽明門の彫刻や逆さ柱, 眠り猫, 想像の象等も事前に学習していることを自分の目で

見ることができたこと, そして実物を目の前にしながらのわかりやすい説明が, 机上で学習してきたことの理解を深めることにつながったのではないかと思います。

1日目の夜の集いで見せた子供たちの姿も素晴らしかったです。クラスごとに出し物をしたのですが, その構成や内容が素晴らしく発表するクラスだけでなく, 見ているクラスもみんな笑顔となり, 6年生が一つになった時間となりました。クラスごとの練習を積み重ね, 形にしてきたことが, 学年で一致団結した時間を生み出す形となりました。そういったことを創り出せる力があることを子供たちが見せてくれました。

また, 「自分が楽しいだけでなく, みんなが楽しくなるように考えて行動した」という子供からの言葉もありました。バスの中でガイドさんが話している時に, 「静かにしようよ」という言葉かけがあったり, 食事の入口で揃っていない上履きを直してくれる仲間がいたり, 食事が終了した後に協力して種類ごとに食器を片付けたり, スタッフの方々に, 「おいしかったです」という声かけをしたりする姿がたくさんありました。

出会った多くの方々からも, あいさつがよくできることや投げかけに対する反応があることについて, お褒めの言葉をたくさんいただきました。

保護者の皆様を始め, 出会った多くの方々や仲間の力や支えの中で過ごすことができた修学旅行。小学校生活残り半年の日々を「感謝すること」を大切にしながら, 自分の力を周囲の人たちのために発揮できるよう, 子供たちの成長を支えていきたいと思っています。